

授業科目	韓国の社会と文化				単位	2		
履修	選択	関連資格			ナンバリング	TO10402J		
開講年次	3・4年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP1-3			
担当教員	金 光子							
授業概要	<p>K-pop やドラマなど韓国に触れる機会が増えてきた近年、はたして韓国についてどれだけ知っているだろうか。本講義では韓国の基礎的な知識を身につけることを目標とする。</p> <p>分かっているようで分かっていない韓国に関する基本情報に加え、刻一刻と変化していく「今」の韓国を追っていく。また「今の日本」との比較を通してその理解を深める。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1.政治・経済など韓国社会の仕組みについての理解を深めることができる。</p> <p>2.古代から現代までの韓国の歴史についての理解を深めることができる。</p> <p>3.教育・兵役など韓国社会制度の特徴を理解することができる。</p> <p>4.マスメディア・宗教など韓国の文化についての理解を深めることができる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	20	0	0	50	10	20	100	その他は、授業貢献度。
知識・理解 (DP1-1)	10			20	10		40	
知識・理解 (DP1-2)	10			20			30	
知識・理解 (DP1-3)				10		20	30	
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
韓国に関する基礎知識を熟知し、日本のそれと比較ができる。				韓国の社会システムについて理解することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	ガイダンス プレゼンテーションの見本、注意事項、評価方法を告知する。	講義	復習：該当部分を復習	60
2	韓国の歴史①	講義 口頭プレゼンテーション	復習：該当部分を復習	60
3	韓国の歴史②	講義 口頭プレゼンテーション	復習：該当部分を復習	60
4	韓国人の対人関係①	講義 口頭プレゼンテーション	復習：該当部分を復習	60
5	韓国の対人関係②	講義 口頭プレゼンテーション	復習：該当部分を復習	60
6	韓国の政治・経済	講義 口頭プレゼンテーション	復習：該当部分を復習	60
7	韓国文化(誕生にまつわる文化)	講義 口頭プレゼンテーション	復習：該当部分を復習	60
8	韓国文化(衣服・女性文化)	講義 口頭プレゼンテーション	復習：該当部分を復習	60
9	韓国文化(人・まちなか文化)	講義 口頭プレゼンテーション	復習：該当部分を復習	60
10	韓国の伝統文化	講義 口頭プレゼンテーション	復習：該当部分を復習	60
11	韓国人と家族	講義 作品鑑賞	復習：該当部分を復習	60
12	韓国の礼儀とマナー	講義 口頭プレゼンテーション	復習：該当部分を復習	60
13	出会いと結婚	講義 作品鑑賞	復習：該当部分を復習	60
14	韓国の食文化	講義 口頭プレゼンテーション	復習：該当部分を復習	60
15	韓国のエンターテイメント まとめとして講義で取り上げたテーマを振り返ると共に相互関連を理解する。	講義	これまでの14回講義をまとめておく	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				

24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	受講生の皆さんの積極的な態度を求める授業です。「聞く」だけではなく「調べ」で「考える」ことをしなければならぬ授業です。新聞、書籍、インターネットなど様々なメディアを通して十分な下調べをしてください。			
テキスト	指定なし。授業ノートを使用します。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	石坂浩一・館野哲編『現代韓国を知るための55章』明石書店			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業を真面目に聞いて、自分なりに整理をしましょう。 授業中に不要なスマートフォン操作をする場合、没収し授業終了後返すことがあります。			
達成度評価に関するコメント	試験、口頭プレゼンテーションについては授業中に説明します。 その他は授業貢献度で評価します。			